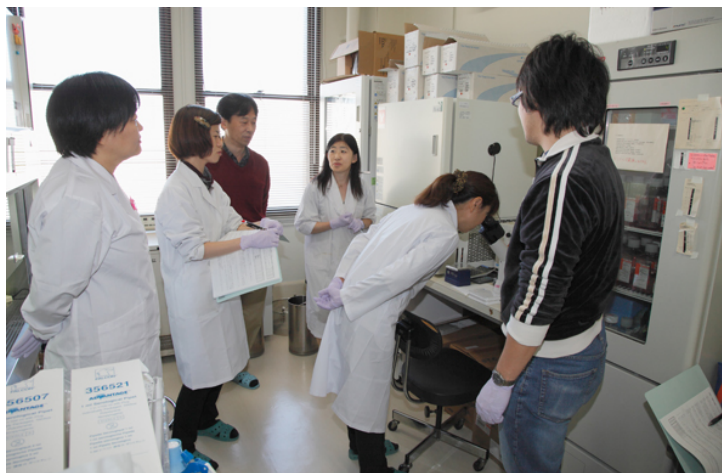


「スプリットタンパク質を用いたウイルス膜融合のリアルタイムアッセイ」

東京大学技術職員研修（分子医科学関係）が11月20日（火）～22日（木）に医科学研究所で行われた。この研修は、医学部と医科学研究所とで毎年交互に開催されているもので、技術職員の実行委員を中心にテーマの選定や研修の企画・運営が行われている。今年は「スプリットタンパク質を用いたウイルス膜融合のリアルタイムアッセイ」をテーマに、実習と関連する6つの講義が行われた。実習は、HIVウイルスの宿主細胞感染の重要な指標である細胞膜融合を、スプリットタンパク質（DSP）を指標蛋白質として培養細胞で解析する新規手法中心に行われた。レセプター蛋白質と一方のDSP指標蛋白質、ウイルス膜蛋白質ともう一方のDSP指標蛋白を別々の細胞に発現させ、レセプターとウイルス膜蛋白質の結合による膜融合を分割された2つの指標蛋白質の活性または蛍光により解析するという手法などを、研修参加者が実際に手を動かして体験した。また、「ウイルス感染と膜融合」、「分割蛋白質（DSP）のデザインなど」、「ルシフェラーゼの酵素活性など」、「DSPの応用、トロピズムアッセイ」、「HIV/AIDSの疫学、治療」、「IN Cell Analyzerの紹介」と題する講義では、アッセイ系のメカニズム等の基礎からAIDSの臨床まで幅広く紹介された。講義は、技術職員研修受講者以外にも、技術職員をはじめ、教員、ポスドク、大学院学生から延べ107名の聴講があり、質疑応答も活発に行われた。参加者からは、「最新の技術と解析機器に触れさせて頂くことができ、その原理を理解できたことは大変良かったと思う。」などの意見が寄せられた。



H24技術職員研修(1)：松田善衛特任教授による講義



H24技術職員研修(2)：実習風景



H24技術職員研修(3)：集合写真

講師(実習及び講義)

(アジア感染症研究拠点)
 松田 善衛 特任教授
 石川 大仁 特任研究員
 中根 修平 特任研究員
 (感染症研究分野)
 細谷 紀彰 特任助教

講師(講義)

(感染症研究分野)
 岩本 愛吉 教授
 (GEヘルスケア)
 大島 典子 様

受講者

伊藤 睦美(医科学研究所) 都竹 順子(医科学研究所)
 横田 直子(分子細胞研究所) 和田 美紀(医科学研究所)

研修実行委員

井上 純一郎 教授
 池上 徹 技術専門職員 石黒 真理 技術専門職員
 小西 知恵子 技術専門職員 中川 清美 技術専門職員
 和田 美紀 技術専門職員
 浦野 元義 人事給与チーム係長